

中国・大連通信

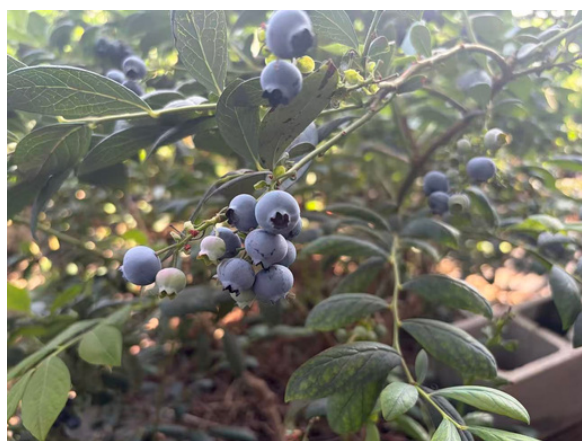
(北九州市大連事務所活動報告)

大連市ブルーベリー農園視察：中国現地のリアルな栽培を感じて

ポイント

- ・ 有機栽培による高品質なブルーベリーの生産
- ・ 当社の日本を含む海外に向けた今後の輸出戦略について
- ・ 中国の農業界が抱える課題とビジネスチャンス

Topic 01 有機栽培による高品質なブルーベリーの生産



◇先日、大連市でブルーベリー農園を営む「大連富甲藍莓有限公司」を訪問しました。当社は農園面積：約1,000亩（約66.7ha、東京ドーム約14個分）と広大な敷地を持ち、ブルーベリーの毎年の収穫量は平均して約300トンと安定した供給を行っている事業者です。

◇当社の1番の特徴は、農薬・化学肥料を一切使わない「有機栽培」にこだわって生産を行っている点です。中国および日本でも有機認証を取得している当社の高品質なブルーベリーは、酸味と甘味のバランスが非常によく有機栽培ならではの自然な味わいを感じることができました。近年は中国国内でもオーガニック食材に関心がある顧客が増加傾向にあり、当社への問い合わせも増えているとのことでした。

Topic 02 当社の日本を含む海外に向けた今後の輸出戦略について

◇当社によると2016年ごろから日本、香港、シンガポールなど海外からの視察が増加しているとのことでした。今回の視察においても、従前より当社と取引のある日本企業を含む多くの参加者がいました。

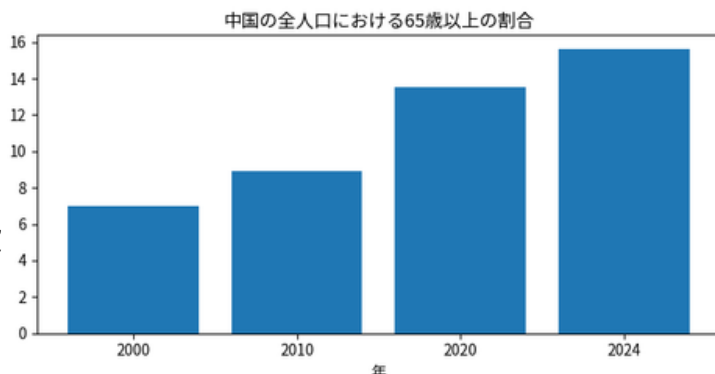
◇今後は、さらなる品質向上と生産量拡大を推進し、食品・健康食品・化粧品分野での日本企業との協業可能性について探っていきたいと仰っていました。特に、当社のブルーベリーを粉末にし、フリーズドライ加工したものを、健康食品として活用頂ける企業への輸出拡大の展望を語っていました。北九州市内においても本商材の活用にご関心がある事業者がいらっしゃいましたら、ぜひおつなぎしたいと考えております。



Topic 03 中国の農業界が抱える課題とビジネスチャンス

◇当社は広大な敷地を保有しながら、生産活動の多くは熟練の従業員の手作業によって行われており、従業員の高齢化が進んでいました。当社に限らず、中国では日本と同じく高齢化が進行しております。(右図参照)

◇一方でこうした課題は日本企業にとっては大きなビジネスチャンスがあると感じました。農業機械や自動化設備、栽培管理システム等を手掛ける企業にとっては中国は非常に大きな可能性を秘めた市場です。関連分野に限らず、中国進出や販路拡大などのご相談はお気軽に当事務所へお問い合わせください。



出典：国家统计局「人口普查」および「2024年国民经济和社会发展统计公报」を基に作成

本稿の担当 = 北九州市大連事務所 上善 (fusuo Zhang@kitakyusyu-dl.com)

本稿に対するご感想、中国に関するお問合せなど何かありましたらぜひご連絡ください。